

アフタイトの組立・施工上の注意事項

- I 寸法施工図に従って穴あけ加工・寸法出しを確実にする。
(穴の大きさ・深さを勝手に変えない。)
- II 柱・梁等の仕口部や梁材の深く大きな割れ材は使用しない。
(使用前材と加工済み材の目視点検を必ずする)
- III 先付ホルダー・後付ホルダーの構造をよく見て理解し、使用する。
(組立済み、ボルト・ナットは、分解しない。)
- IV 施工手順に従って確実に作業する。
(組み立て前にシュミレーションをする。)
- V 電動工具や手持ち工具は、保守点検済みの工具を使用する。
(故障・キズ・割れの無い工具)
- VI 組立て作業中の材料との挟まれ、巻き込み等に注意する。
(柱・梁、引合わせ組立て施工注意。)
- VII ボルト・ナットの締め付け不足・締め付け過ぎに注意する。
(手締め・電動工具にての締め付けを充実する。)
- VIII キズ・ヘコミ・割れのある物は、使用しない。
(改造等・手を加えた危険なホルダーは使わない。)
- IX 部品等を乱暴に扱ったり無理な組み付けをしない。
(ネジ山の破損・食付きに注意し慎重に扱う)
- X いつも安全を心掛け注意して作業をする。
(高所は、特に注意・チームワークで作業する。)
- X I **アフタイト**の責任者を決め作業する。
(部品・パーツを紛失防止の管理。)

(注意)

最近お客様より火打ちの先付ホルダー・後付ホルダーが沈みすぎてボルトが入りにくいと指摘を受けましたが原因は、穴の深さが当社指定の寸法より深く開けたことで起きました。穴の大きさや深さを勝手に変えた施工は、作業低下や強度低下に繋がります十分な注意をして施工下さいませ。

以上の事を必ず守って作業してください。

守らず作業しますと思わぬ負傷・怪我・事故・トラブルに繋がります。

十分注意して安全に作業して下さい。